

科目名	特別支援教育概論	担当教員	堀江聡美 ※印は実務経験のある教員を示す。			
-----	----------	------	--------------------------	--	--	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	4年次	後期	1単位	講義

科目概要	2007年度より施行された特別支援教育制度では、対象を知的に遅れのない発達障害の児にも広げ、乳幼児期から就労に至る過程に亘って、個々の特徴を踏まえた上での支援を目指している。支援の過程では教育以外の医療、福祉分野との連携が求められており、以前に増して作業療法士による支援が求められる機会が増えている。本講義では、現場での支援に携わっている作業療法士の実践から、教育、福祉分野との連携について学び、地域に貢献できる作業療法士のあり方について考察を深める。
学習目標	①特別支援教育制度に基づいた教育機関の支援体制の仕組み・状況について理解する。 ②対象児が地域で生活するための福祉的支援体制の仕組み・状況について理解する。 ③様々な対象児の地域での生活を支える多様な介入の事例から作業療法の地域支援の重要性について考察を深める。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	特別支援とは (教育的視点)	教育の関連法規、学習指導要領について	教育にまつわる関連法規や学習指導要領の内容についての理解を深める。	
2	特別支援とは (教育的視点)	学校組織・通常学級と特別支援学級について	学校組織の枠組みや運営、通常学級と特別支援学級の学習内容の違いについての理解を深める。	
3	特別支援とは (教育的視点)	児童個別の教育支援計画、指導計画について	個別の教育支援計画、個別指導計画についての理解を深める。	
4	特別支援とは (福祉的視点)	福祉サービスの関連法規・サービス内容について	乳幼児期から成人期までに受けることができる福祉サービスについての関連法規やサービス内容について知る。	
5	特別支援とは (福祉的視点)	相談支援事業、および福祉サービスの受給過程について	相談支援事業やサービスを受給するまでの流れについて理解する。	
6	支援の実際 (教育現場への介入)	教育現場への支援介入について	教育現場への介入について事例を通して理解する。	
7	支援の実際 (福祉・医療現場への介入)	福祉・医療現場への介入について	発達支援のほか、医療的ケアが必要な児童への作業療法介入について事例を通して理解する。	
8	支援の実際 (様々な形態での関わり方)	特別支援教育に関与する他専門職・機関との連携について	特別支援に関わる作業療法士としての様々な介入方法(他機関の連携、ケース会議の実際など)について事例を通して理解する。	
評価方法		課題(レポート)		
教科図書		特に指定しない。		
参考図書		講義の中で紹介する。		
学習の準備		発達障害基礎論、発達障害作業治療学など既習の周辺知識について確認しておくこと。		
オフィスアワー		講義1回目のガイダンスで説明する。		

担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験	
-----------------------------	--